

学校名	久喜市立江面第二小学校
所在地	埼玉県久喜市除堀1380番地
電話	0480-22-8237

1. 本校の概要

本校は、埼玉県北東部に位置し、四季折々の変化に富んだ自然環境に恵まれている。児童数150名の小規模校である。その特色を生かして、異年齢縦割り集団活動に力を入れている。

本校の児童は、穏やかな子が多く、地域の人に見守られながら、健やかに育っている。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

朝の読書を通して

毎朝、8時15分から10分間、読書の楽しみを味わわせるとともに、読書の習慣化と生活化を目指し、児童と教師がともに読書に取り組み、落ち着いた一日のスタートをきっている。教師は児童とともに読書をしながら児童の読書の様子を把握し、個々に応じた支援を工夫している。

国語科を通して

教材文の内容や作者と関連させるなど様々なジャンルの読書を意図的に働きかけている。また、単元の目的に合わせて学習過程に読書活動を位置付け、さらなる読み広げや読み深めをしながら、より豊かな読書生活ができるように指導助言している。

特別活動を通して

国語科や朝の読書との関連を図りながら、豊かな読書生活を築いていくために、「ようこそブックフレンドリーの世界へ」等の題材を設定して、自分の読書生活を振り返ったり、友だちと本を紹介し合ったりして読書を広め、自ら進んで楽しく読書をしようとする態度を育てている。

親しみやすい図書館運営を通して

教師による手作りのブックスタンドを活用し、子供たちが閲覧しやすいように展示の工夫をしている。また、図書館ボランティアの方から、貸出しや整備の支援を受け、温かい雰囲気づくりに努めるとともに、家庭・地域から多数の本の寄贈も受け、児童と本との出会いづくりに努めている。

(2) 家庭や地域との連携

親子読書

夏休み中に親子で一冊の本を選び、読み合い、感想を話し合う中で、親子のふれあいを深くし、きずなを深めている。その一端を市の親子ふれあい行事「ハートフルフォーラム2001」で発表している。

公立図書館とともに

教材に関連する図書の収集や、市職員による定期的な学校訪問での読み聞かせ等で連携を図っている。例えば、人権週間では、人権に関係する本を読み聞かせするなど、季節や行事に合わせた読書活動の工夫も行っている。

3. 成果と今後の課題

(1) 読書活動の成果

朝の10分間読書を継続により、低学年では集中して読み続けられるようになった。中学年では読書に幅が出てきた。高学年では読書に一層広がりが見られるようになった。

意図的に読み聞かせやブックトークをすることで、いろいろなジャンルの本に目を向けることができるようになった。

わずかな時間でも本を広げ、進んで読もうとする読書への意欲が向上した。

(2) 今後の課題

朝の読書のさらなる推進、及び各教科・総合的な学習等との密接な関連、家庭と連携を図った親子読書活動の推進などを地道に継続していきたい。